

D P Cフォーマットデータ提出開始届出書

1. A245データ提出加算に関する施設基準（該当する項目にチェックをすること。）

- 7対1入院基本料又は10対1入院基本料に係る届出を行っている。^(※1)
- A207診療録管理体制加算に係る届出を行っている。
 - A207診療録管理体制加算に係る届出を行っていないが、それと同等の診療録管理体制を有しており、当該基準を満たすべく計画を策定している。（様式40の6「D P Cフォーマットデータ提出開始届出書（別紙）」を提出すること）^(※2)
- 「D P C導入の影響評価に関する調査（特別調査を含む。）」に適切に参加できる。
- 適切なコーディングに関する委員会を設置し、年2回以上、当該委員会を開催すること。

2. 病床数

病床数 ^(※3)	床
---------------------	---

3. データ提出を開始する項目（該当する項目にチェックすること。）

- 入院データ
- 入院データ 及び 外来データ（新たに外来データを提出する場合を含む）

4. データ作成開始日

平成	年	月	日
----	---	---	---

上記のとおり届出を行います。

平成 年 月 日

保険医療機関の所在地住所
及び名称

開設者名

印

厚生労働省保険局医療課長 殿

事 項	担 当 者 1 ^(※4)	担 当 者 2 ^(※4)
保険医療機関名		
所 属 部 署		
役 職		
氏 名		
電 話 番 号		
F A X 番 号		
E - m a i l		

(注意事項)

- ※1 7対1入院基本料、10対1入院基本料とは、A100一般病棟入院基本料、A104特定機能病院入院基本料（一般病棟に限る。）及びA105専門病院入院基本料の7対1入院基本料、10対1入院基本料をいう。
- ※2 施設基準を全て満たした上で届出を行う病院は、データ作成を開始する月の前月の20日までに地方厚生（支）局医療課長を経由して、厚生労働省保険局医療課長に提出すること。
ただし、A207診療録管理体制加算に係る届出を行っていないが同等の診療録管理体制を有しており、当該基準を満たすべく計画を策定している病院は、様式40の6「DPCフォーマットデータ提出開始届出書（別紙）」を本届出書に添付し、データ作成を開始する2月前の20日までに地方厚生（支）局医療課長を経由して、厚生労働省保険局医療課長に提出すること。
- ※3 病床数は、様式6「入院基本料等の施設基準に係る届出書添付書類」のうち、下記区分の病床数の合計を記載することとし、本届出にあたり、様式6を添付すること。

入院基本料	区分等
A100 一般病棟入院基本料	7対1、10対1
A104 特定機能病院入院基本料（一般病棟）	7対1、10対1
A105 専門病院入院基本料	7対1、10対1

特定入院料	区分等
A300 救命救急入院料	1、2、3、4
A301 特定集中治療室管理料	1、2
A301-2 ハイケアユニット入院医療管理料	
A301-3 脳卒中ケアユニット入院医療管理料	
A301-4 小児特定集中治療室管理料	
A302 新生児特定集中治療室管理料	1、2
A303 総合周産期特定集中治療室管理料	1、2
A303-2 新生児治療回復室入院医療管理料	1、2
A305 一類感染症患者入院医療管理料	
A307 小児入院医療管理料	1、2、3、4

- ※4 担当者2名について、DPC対象病院、DPC準備病院は、「DPC導入の影響調査に関する調査」に係る連絡担当者として、DPC調査事務局に登録している担当者を記載すること。

D P Cフォーマットデータ提出開始届出書（別紙）

保険医療機関名：

所在地住所：

1. A207診療録管理体制加算に関する施設基準（要件を満たしていない項目をチェックすること。）

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> (1) 診療記録（過去5年間の診療録並びに過去3年間の手術記録、看護記録等）の全てが保管・管理されていること。<input type="checkbox"/> (2) 中央病歴管理室が設置されていること。<input type="checkbox"/> (3) 診療録管理部門又は診療記録管理委員会が設置されていること。<input type="checkbox"/> (4) 診療記録の保管・管理のための規定が明文化されていること。<input type="checkbox"/> (5) 1名以上の専任の診療記録管理者が配置されていること。<input type="checkbox"/> (6) 保管・管理された診療記録が疾病別に検索・抽出できること。<input type="checkbox"/> (7) 入院患者についての疾病統計には、I C D大分類程度以上の疾病分類がされていること。<input type="checkbox"/> (8) 全診療科において退院時要約が全患者について作成されていること。<input type="checkbox"/> (9) 患者に対し診療情報の提供が現に行われていること。なお、この場合、日本医師会が作成した「診療情報の提供に関する指針」を参考にすること。 |
|--|

2. 上記要件を満たすための計画

A207 診療録管理体制加算の届出予定日	平成 年 月 日

(注意事項)

- ※1 計画の達成期限及びA207診療録管理体制加算の届出予定日を必ず記載すること。
- ※2 計画等が変更になった場合には、速やかにその内容を申し出ること。
- ※3 A207診療録管理体制加算の届出を行っている場合は、本別紙の提出は不要。

データ提出加算に係る届出書

1. A245データ提出加算に関する施設基準（該当する項目にチェックをすること。）

7対1入院基本料又は10対1入院基本料に係る届出を行っている。
 A207診療録管理体制加算に係る届出を行っている。
 A207診療録管理体制加算に係る届出を行っていないが、それと同等の診療録管理体制を有しており、当該基準を満たすべく計画を策定している。
 「DPC導入の影響評価に関する調査（特別調査を含む。）」に適切に参加できる。
 適切なコーディングに関する委員会を設置し、年2回以上、当該委員会を開催すること。

2. 病床数

病床数 ^(※1)	床
---------------------	---

3. 今回届出を行う項目

<input type="checkbox"/> データ提出加算1 ^(※2)	<input type="checkbox"/> イ（200床以上の病院）
	<input type="checkbox"/> ロ（200床未満の病院）
<input type="checkbox"/> データ提出加算2 ^(※2)	<input type="checkbox"/> イ（200床以上の病院）
	<input type="checkbox"/> ロ（200床未満の病院）

上記のとおり届出を行います。

平成 年 月 日

保険医療機関の所在地住所
及び名称

開設者名

印

殿

(注意事項)

※1 病床数は、様式6「入院基本料等の施設基準に係る届出書添付書類」のうち、下記区分の病床数の合計を記載することとし、本届出にあたり、様式6を添付すること。

入院基本料	区分等
A100 一般病棟入院基本料	7対1、10対1
A104 特定機能病院入院基本料（一般病棟）	7対1、10対1
A105 専門病院入院基本料	7対1、10対1

特定入院料	区分等
A300 救命救急入院料	1、2、3、4
A301 特定集中治療室管理料	1、2
A301-2 ハイケアユニット入院医療管理料	
A301-3 脳卒中ケアユニット入院医療管理料	
A301-4 小児特定集中治療室管理料	
A302 新生児特定集中治療室管理料	1、2
A303 総合周産期特定集中治療室管理料	1、2
A303-2 新生児治療回復室入院医療管理料	1、2
A305 一類感染症患者入院医療管理料	
A307 小児入院医療管理料	1、2、3、4

※2 厚生労働省保険局医療課より通知された区分について届出を行い、通知された文書（写）を本届出書に添付すること。

データ提出加算に係る辞退届

(辞退理由)

当院は、上記理由により、データ提出加算に係る届出を辞退します。

平成 年 月 日

保険医療機関の所在地住所
及び名称

開設者名

印

(連絡先) 担当者名

所属部署

電話番号

E-mail

厚生労働省保険局医療課長 殿

(注意事項)

- ※ 本退出届は、中央社会保険医療協議会に報告を行うものであること。
- ※ 本届出を行った翌月1日より1年後の同日までの間、再度データ提出加算の届出はできない。
- ※ 1年以上経過した後に再度データ提出を行う場合にあつては、様式40の5「DPCフォーマットデータ提出開始届出書」に加え、データを継続的かつ適切に提出するために必要な体制が整備されたことを示す書面を添付し、地方厚生(支)局医療課長を経由して、厚生労働省保険局医療課長に提出すること。